

# 豊能町地震ハザードマップ

【保存版】

平成20年11月1日作成

## 地震による揺れの状況

右と下の図は、豊能町周辺にある活断層を震源とする地震や、太平洋沖を震源とする巨大地震が発生した場合に予測される震度の様子を示したものです。いずれの地震でも、豊能町域が大きな揺れに襲われると考えられています。日頃の備えとして、非常持ち出し品の準備、最低3日分の食糧備蓄、家具等を固定しておく転倒防止対策、避難場所の確認等を心がけてください。  
(この地震ハザードマップは、大阪府大規模地震被害想定調査結果を引用しています。)

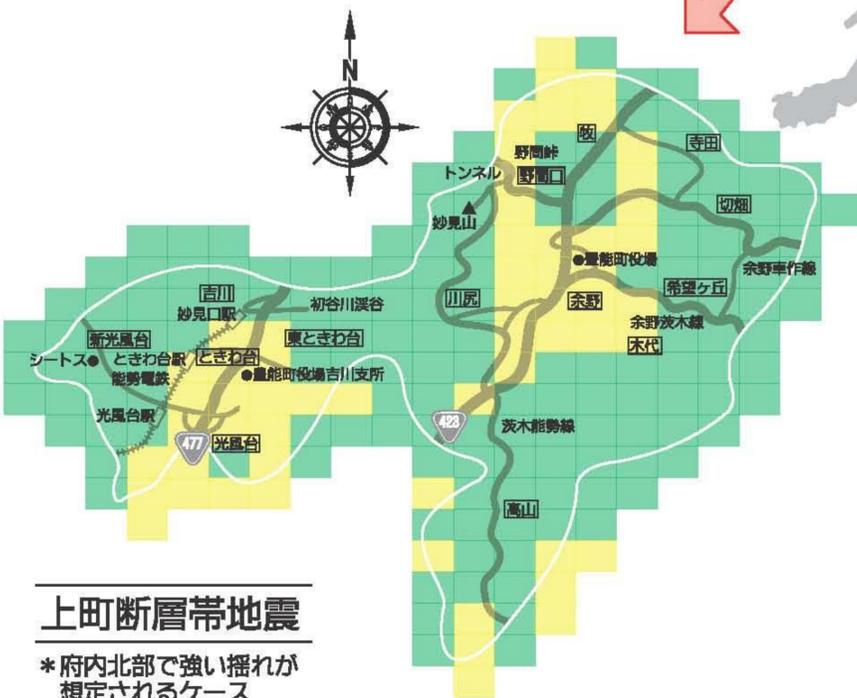
### 震度階

震度	ゆれの状況	震度	ゆれの状況
0	●人はゆれを感じない。	5	●多くの人が行動に支障を感じる。 ●タンスなどの重い家具や自動販売機が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難になる。
1	●屋内にいる人の一部が、わずかなゆれを感じる。	6	●立っていることが困難になる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 ●耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。
2	●屋内にいる人の多くがゆれを感じる。 ●つり下がった電灯などがわずかにゆれる。	6	●はわないと動くことができない。 ●固定していない家具のほとんどが移動、転倒する。 ●耐震性の高い住宅でも、壁や柱が損傷するものがある。
3	●屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少しゆれる。	7	●自分の意思で行動できない。 ●ほとんどの家具が移動し、飛びものもある。 ●耐震性の高い住宅でも傾いたり、大きく損傷することがある。
4	●かなりの恐怖感がある。 ●つり下げてある物は大きくゆれ、棚にある食器類は音を立てることがある。 ●電線が大きくゆれ、歩いている人もゆれを感じる。		
5	●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●窓ガラスが割れることがある。 ●電柱がゆれているのがわかる。		

### 想定した地震と発生確率

想定地震	今後30年以内の地震発生確率
有馬高槻断層帯地震	ほぼ0~0.02%
上町断層帯地震	2~3%
東南海・南海地震	60~70%程度(東南海)
	50%程度(南海)

地震発生確率は、地震調査研究推進本部が発表した長期評価(H19年1月)による。

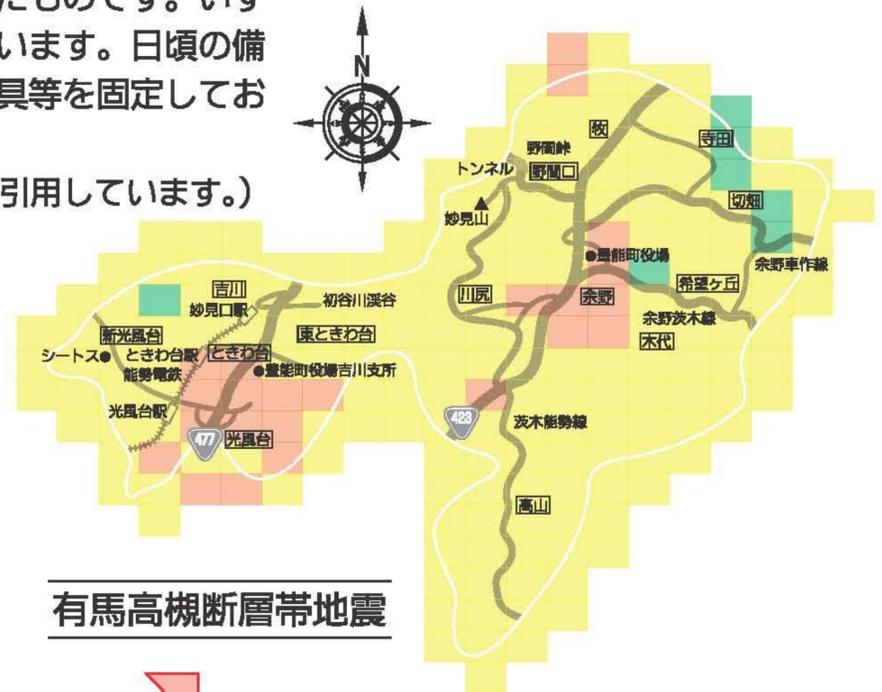


#### 建築物被害想定

	全壊			半壊		
	木造	非木造	計	木造	非木造	計
豊能町	2棟	0棟	2棟	4棟	3棟	7棟

#### 建築物被害による人的被害想定

	死者			負傷者		
	早朝	昼間	夕刻	早朝	昼間	夕刻
豊能町	0人	0人	0人	2人	1人	1人

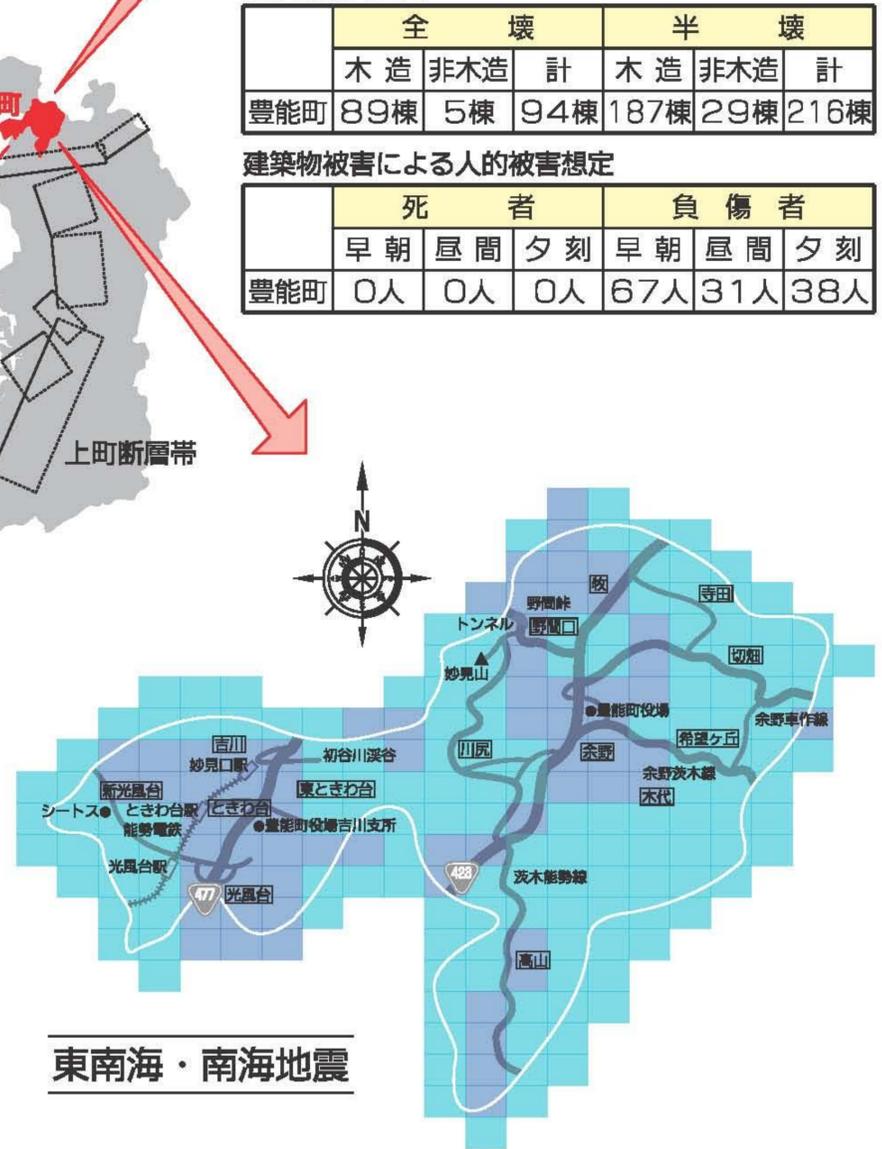


#### 建築物被害想定

	全壊			半壊		
	木造	非木造	計	木造	非木造	計
豊能町	89棟	5棟	94棟	187棟	29棟	216棟

#### 建築物被害による人的被害想定

	死者			負傷者		
	早朝	昼間	夕刻	早朝	昼間	夕刻
豊能町	0人	0人	0人	67人	31人	38人



#### 建築物被害想定

	全壊			半壊		
	木造	非木造	計	木造	非木造	計
豊能町	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟

#### 建築物被害による人的被害想定

	死者			負傷者		
	早朝	昼間	夕刻	早朝	昼間	夕刻
豊能町	0人	0人	0人	0人	0人	0人

# 地震・津波から身を守るために

## 地震に対する心得

### 1. 地震が起こる前に

- 強い揺れによって家具などが転倒・落下すれば危険です。家具やロッカーなどを固定して、転倒防止対策に心がけましょう。
- 兵庫県南部地震の死者の約8割は家具の倒壊による圧死でした。自宅や会社の耐震診断を行って、耐震補強により地震に備えましょう。
- 日頃から非常持ち出し品の準備や、避難場所がどこか確認しておくなど、災害に備えましょう。
- 家族で連絡方法を決めておきましょう。【NTT災害用伝言ダイヤルは、171+1で録音、2で再生】※

※【NTT災害用伝言ダイヤル】は、一般電話(プッシュ回線、ダイヤル回線とも)、公衆電話、携帯電話等から利用できます。また、携帯電話ではメール機能を利用した【災害伝言板】も利用できます。

### 2. 強い揺れを感じたら

- まず丈夫な机やテーブルなどの下に身をかくし、座布団などで頭部を保護しましょう。
- 揺れがおさまれば、使用中のガス器具を止め、元栓を締めるなど、すばやく火の始末をしましょう。
- 少しの時間差をおいて再び強い地震が発生することがあります。このような、本震のあとの強い余震にも十分に気をつけましょう。

### 3. 東南海・南海地震の時は

- ゆったりとした周期の長い揺れが数分程度続くことが予想されます。無理に屋外に飛び出すとかえって危険です。あわてて飛び出すことなく、揺れがおさまるのを待って、落ち着いて行動しましょう。

### 4. 行動と退避は

- とにかく落ち着いて、一つひとつ確かめながら行動しましょう。家の外にも危険がいっぱいです。
- 家が傾いたり、火災の延焼などの危険があれば、避難場所や避難所に急いで避難しましょう。
- 家を離れる時は電気のブレーカーを落とし、玄関に行き先などをメモしましょう。
- 隣近所の人たちの安否を確認しましょう。
- できるかぎり、自主防災組織や隣近所と協力して、救出救助・消火活動に加わりましょう。

## 津波に対する心得

### 1. 東南海・南海地震だと思ったら

- 海岸や河川敷で、強い地震や弱い地震でも長い時間ゆったりとした揺れを感じたときは、直ちにその場所を離れ、急いでできるだけ山側の高い場所に避難しましょう。間に合わないときには、3階建て以上の鉄筋コンクリートの建物に一時的に避難しましょう。
- 地震を感じなくても、津波警報が発令されたときには、直ちに各市町村で指定されている避難所か、安全な場所に避難しましょう。

### 2. 大阪には、東南海・南海地震から1～2時間後に津波が到達します。

- 正しい情報をラジオ・テレビ・防災スピーカー・広報車などを通じて入手しましょう。特に、海水浴や釣りなどのレジャーに出かけるときは携帯ラジオを忘れずに持参しましょう。
- 津波注意報でも、海や川に近づくことは危険です。津波を見に行くことは絶対にやめましょう。

### 3. 油断してはいけません。

- 津波は繰り返し何度も押し寄せるので、警報・注意報解除まで警戒を怠らないことが肝心です。
- 小さい津波でも、とても速い流れが発生することがあります。